

事業名		健康増進プログラム事業				所管部課係名		健康福祉部高齢福祉課高齢者福祉係					
I. 施策区分													
戦略1 健康産業の創造													
健康に寄与する産業の活性化					市民の健康増進に貢献する産業の活性化								
① 地域産品・地域資源を活用した伊達ブランド産品の販路拡大		① ポイントカードを活用した健康増進と経済循環		② 地域産品のPR・プロモーションによる地場産業の活性化		② 民間事業所等による伊達市民向け健康増進プログラムの展開		③ 伊達市観光物産館等での観光戦略の推進		③ 市民の伊達野菜の認知度向上			
④ 民間企業による商品の開発支援		④ ひとり親、退職高齢者等の一次産業就業支援		⑤ 大滝区における体験型観光の取組				⑥ 健康関連事業の起業支援					
戦略2 定住促進のための環境整備													
雇用環境の向上と子育てにやさしいまちの実現					多様な人・世代の転入促進（UJI Xターン支援）								
① 若年者・女性の雇用環境の改善		① ひとり親、若年者等の就労・自立支援		② 若年女性の定住支援		② 就労相談窓口におけるサポート		③ 遊びを通じた子育て環境の整備		伊達を誇りに思うひとづくり			
④ 放課後児童クラブを活用した教育活動の実施		④ 伊達市に住むことを誇りに思う意識の醸成		⑤ 移住希望者への情報提供		⑤ 芸術・文化の小さな拠点づくり		⑥ 空き家情報の一元的な提供		近隣自治体と連携した定住環境の整備			
		⑥ 近隣他市町との広域連携事業の推進											
戦略3 生涯現役社会の実現													
時代に合った地域づくり、安全・安心な暮らしの実現					住み慣れた地域で自分らしく生活できるまちの実現								
① 地域包括ケアシステムの構築		① 高齢者が気軽に集える場の創設		② 健康づくり・介護予防・認知症予防事業の推進		② 市民クラブ活動支援センター等によるコミュニティ活動の支援		③ 民間事業所による生涯現役社会実現に向けた取組の支援					
総合戦略の重要業績評価指標（KPI）		健康づくり事業指導者養成件数		2019年度（H31年度）		25件							
II. 事業内容													
事業概要													
伊達市は、全国、全道平均より高齢化が進んでいる。高齢者が積極的に健康増進に取り組むことは、健康寿命の延伸につながり、地域コミュニティの活性化及び医療費・扶助費等の削減に寄与する。そこで、民間事業所等による健康増進プログラムの実施により、健康産業への取り組みの活性化を図るとともに、健康寿命の延伸に取り組むもの。													
新継区分													
<input checked="" type="checkbox"/> 新規		<input checked="" type="checkbox"/> 補助		事業期間		開始 平成 27 年度		実施形態		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託			
<input type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 単独		終了 平成 年度				団体名（		）			
								構成員（		）			
決算状況													
予算額		4,129 千円		決算額		3,794 千円		うち 地方創生交付金		2,600 千円			
財源		国・道		地方債		その他		一般財源					
		2,600 千円		0 千円		1,000 千円		194 千円					
内訳		・健康カラオケプログラムの実施に係る委託料等		1,211千円		・健康カラオケ機器等の整備に係る備品購入費		2,452千円		・口腔機能評価の実施に係る歯科衛生士謝礼金		72千円	
		・音楽健康指導士の育成に係る補助金		59千円									
実施した内容													
・伊達はつつ元気塾事業の実施 開催場所：①有珠地区コミュニティセンター白鳥館 ②黄金地区コミュニティセンターはまなす館 開催期間：①平成28年1月18日～3月24日 9回実施 ②平成28年1月22日～3月23日 10回開催 実施内容：①健康カラオケを利用した介護予防プログラム ②給食の提供 ③参加者の送迎 ④運動・口腔・認知機能評価 ⑤健康カラオケ機器の購入 ⑥音楽健康指導士の育成													

III-1. 所管課の評価結果（全体評価）									
必要性		対応性		事業の結果が対象者（団体等）のニーズを満たしているか		評価結果		○	
		適切性		事業の目的自体が地方創生にとって適切なものであるか				○	
		効率性		事業の目的を達成するにあたって、最小の費用（あるいは適切な費用）で事業が賅われているか				○	
		有効性		生み出された効果が基本的方向や人口ビジョンに照らして効果が期待できるものか				○	
		公平性		事業効果の受益や費用の負担が社会における多様な集団の間に公平に分配されているか				△	
※評価基準		○ 妥当である		△ 概ね妥当である		× 妥当ではない			
事業効果		健康カラオケプログラムの実施により、運動機能の向上や口腔・認知機能の維持、プログラムに参加することで外出の機会が増え、参加者同士の交流を通してコミュニティの活性化を図ることができた。また、音楽健康指導士を2名育成することができた。健康カラオケプログラムを通して、一定の効果が得られた。							
今後の改善点		平成27年度は3か月間という短期間での取り組みであったため、機能向上を図るためには長期間での取り組みや各プログラムの工夫、家でもできるような動機づけが必要である。また、音楽健康指導士の育成については、市広報誌やホームページ等を活用し、広く市民に周知する。							
将来的な自立の見通し		地域の交流の場づくりのきっかけとなったことから、今後も継続することにより、地域の集いの場として自主的な集まりへと移行することが期待できる。自主的な介護予防活動へ移行する際には、育成した音楽健康指導士と連携してプログラムを展開していく。							
その他		平成28年度も引き続き有珠・黄金地区で健康カラオケプログラムを実施し、地域コミュニティの活性化と健康寿命の延伸に取り組む。							

III-2. 所管課の評価結果（KPIの達成状況）									
実施計画の重要業績評価指標（KPI）		音楽健康指導士資格取得者数：2名		評価結果		○			
※評価基準		○ 達成済み		△ 達成する見込み		× 達成する見込みはない			
元気塾には延べ618名の参加があり、1回平均の参加者は30名であった。また、音楽健康指導士の資格取得者は2名であった。（74歳と33歳の男性、2名）平成28年度は引き続き健康カラオケプログラムを実施し、地域コミュニティの活性化及び健康寿命の延伸に取り組むとともに、音楽健康指導士を育成することで、将来的には自主的な介護予防活動へ移行することを目指す。									

IV. 事業結果を踏まえた企画課評価結果									
実施状況		計画した事業が実施されているか		○ 問題なく実施している		△ 社会経済情勢等の変化に伴う見直しが必要		○	
				○ 目標達成が期待できる		△ 今後の推移を見守る必要がある		○	
重要業績評価指標（KPI）の達成見通し		現時点におけるKPIの達成状況		× 目標達成が困難である		○ 期待した効果が上がっている		○	
		取り組み後の効果の状況		△ 部分的に効果が上がっている		× まだ効果が見られない			
事業の今後について		追加等更に発展させる		事業内容の見直し(改善)		★ 事業の継続		事業の中止	
						★ 見直し必要		見直し不要	
総合戦略の見直しの必要性		見直し必要		★		見直し不要			
「市民の健康増進に貢献する産業の活性化」を目指し、民間事業所等による伊達市民向け健康増進プログラムの展開の施策として実施したものである。高齢化率の高い地区で1回平均で30名を集め、高齢者の外出機会を生み出し、新たなコミュニティも創出されるなど、地方創生に非常に効果的な事業であり十分な効果が得られたと考える。高齢者の心と体の健康維持はもちろんのこと、高齢者自らが音楽健康指導士の資格を取得し事業に参加するなど、市民の健康増進に一定の効果が見込まれる。そのため、総合戦略を推進するためには、継続的な事業の実施が必要である。									